

第25号

2013年(平成25年)2月15日
発行 岩国市議会

〒740-8585
山口県岩国市今津町一丁目14番51号
TEL (0827) 29-5190
FAX (0827) 21-1001
URL <http://www.iwakuni-shigikai.jp>
E-mail tegami@iwakuni-shigikai.jp

編集:いわくに市議会だより編集委員会
印刷:フジ美術印刷株式会社

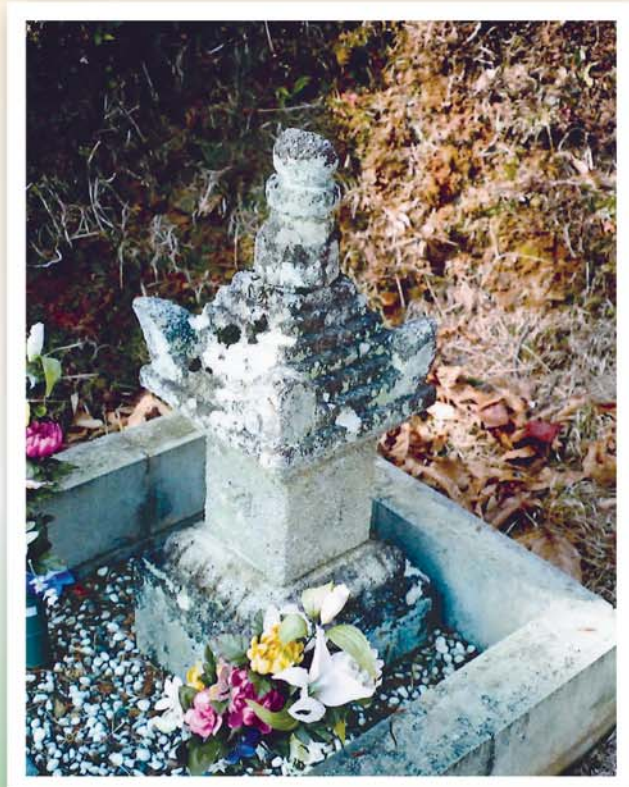
☆ いわくに 市議会だより

わがまち 名所めぐり

岩国市内各地の
名所旧跡を
シリーズで紹介します。



▲しょううんじ 祥雲寺の木造薬師如来座像(玖珂町)
像高51.9cmの薬師如来座像は祥雲寺の本尊で、平安時代末期(12世紀)の制作とされています。左右に日光菩薩立像、月光菩薩立像が配置され、さらには増長天立像、広目天立像、持国天立像、多聞天立像が、本尊を守っています。
(市指定有形文化財 平成17年指定)



▶ほうきょういんとう 東大寺の宝篋印塔(美和町)
宝篋印塔とは供養塔などに使われる仏塔の一種です。花崗岩製で高さは約100cm、相輪の九輪部分が欠失していますが、基礎の上端が反り花となっており、塔身四面に金剛界四仏の梵字が刻まれ、南北朝時代(14世紀)を下らぬ作とされています。美和町にはこの他にも、宝篋印塔が残されています。

主な内容

12月定例会のあらまし…………… 2
一般質問…………… 3~7

常任委員会審査報告…………… 8~9
議会構成の紹介…………… 10

12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月27日から12月20日までの24日間の会期で開催されました。

初日には、監査報告5件、報告1件、諮問1件、議案21件が上程されました。報告1件は、平成24年度岩国市一般会計補正予算の専決処分承認についてで、これは、平成24年12月16日の衆議院議員選挙に係る経費が発生したことによるものです。諮問1件は人権擁護委員の推薦です。報告1件と諮問1件はともに承認されました。

議案のうち、平成24年度岩国市一般会計補正予算は、職員の変動に伴う人件費の調整、市税の決算見込みによる調整、愛宕山での多目的広場・防災センター整備事業費の増額及び事業費の確定見込みによる諸経費の調整で、補正額は6億1,668万3,000円。補正後の額は、635億5,262万8,000円となります。その他、岩国市国民健康保険

特別会計補正予算他7件の特別会計補正予算などの補正予算関係、条例の廃改正・新規条例制定議案、指定管理者の指定など、議案21件は各常任委員会に付託されました。

12月5日からの一般質問は、3日間で18人が登壇し、活発な質問が行われました。前回と同じく、岩国基地に関する質問が多くありました。

12月11日からの各常任委員会では、補正予算など議案21件及び岩国医療センター跡地対策についての請願を慎重審査した結果、可決・採択すべきものと決しました。

20日の最終日には、各常任委員会の審査報告後、採決が行われました。議案第157号「指定管理者の指定について(岩国運動公園等5施設)」は、議員より異議が出され、「選定方法に問題がある。」との反対討論が行われましたが、採決の結果、賛成多数となり、常任委員会の審査報告どおり可決されました。



12月定例会

防 災

一般質問
市政を聞く

12月定例会では、
18人の議員が登壇しました。
防災、基地政策、介護保険など
46項目にわたる質問が
展開されました。

災害別避難所マップの作成を
災害別に検討し市民に周知

河 合 伸 治 (公明党議員団)

問 岩国市では、これまでに、洪水や土砂災害、高潮の各ハザードマップが作成され、また地震を想定したマップも作成中である。その中には避難所が掲載はされているが、一元的に作成されていないため、災害によっては適さない避難所もある。対策として、災害発生の際どこへ避難したら良いか一目でわかる災害別避難所マップの作成が必要である。対策を伺う。

答 各ハザードマップに避難所は掲載しているが、災害が発生した際、どこへ避難をしたら良いかは、個人の判断にまかされている。災害別の適否を検討し、市民に広報したい。

(危機管理課)



国指定の天然記念物“岩国のシロヘビ”

総 合 支 所

道路等の維持管理体制の強化を
維持管理における基準の見直しで対応

石 原 真 (清風クラブ)

問 合併後、各総合支所では、職員の削減や予算の減少などで、道路や水路などの適切な維持管理ができていない状況である。住民からの苦情や要望に迅速に対応できる維持管理体制の強化と新たな管理部門の設置を強く求める。

答 専門の管理部門を新設し、職員配置を行うということが望ましいが、職員適正化計画に基づいた職員数管理を進めており、慎重な検討を要する。しかしながら、道路等の管理は重要な責務であり、適切な予算確保はもとより、維持管理における基準の見直しや職員の効率的な配置・活用を検討していきたい。

(職員課・道路課)

基 地

商 工

大規模小売店舗の進出による問題点
渋滞や通学路の安全対策は意見書に反映

大 西 明 子 (日本共産党市議員団)

問 フレスタ室の木店舗は面積が54倍、駐車場は現行の143台から552台に拡張される。国道2号と県道113号は現在も2車線で右折・左折・直進がありとても危険。夕方ラッシュ時は大変な渋滞になると容易に予測できる。市道側出入口の山手11号線は県道113号線と交差し、西方面は室の木4丁目の団地につながる道路幅の狭い歩道のない道路で朝夕の通勤車両も多く、通学路もある。道路の拡幅、企業にも応分の負担を求めるなど要望する。

答 フレスタ側に利用者のマナーを守るようガードマンによる誘導を要請、市道の拡幅はできるところから実施を検討したい。(商工振興課)

今後の基地政策は
国と信頼回復をし、個々対応する

渡 辺 和 彦 (市政クラブ)

問 M-VI-22オスプレイの一時駐機問題で揺らいだ国との信頼関係を踏まえ、今後の艦載機移転・米軍関係者の事件事故防止にどう向き合うのかを問う。

答 一時駐機問題では国との信頼関係が揺らぎかねない状況にあったことは残念であるが、さまざまな課題の解決へ国との協議を継続していく。基地の運用については周辺市町と情報共有し対応する。艦載機移駐は課題解決に向け更なる国との協議を行う。事件事故防止については、日米地位協定の抜本的改定に向けあらゆる機会を捉え、関係する県・市・町とともに強く外務省・防衛省に求める。

(基地政策課)

教 育

岩国市教育委員会の取り組みは
いじめに対し組織的対応を図る

重岡 邦 昭 (市民クラブ)

問 岩国市教育委員会は、9月議会において大津市のいじめ自殺を教訓に、いじめは児童生徒の心身の健全な発達に重大な影響を及ぼし、不登校や自殺などを引き起こす背景ともなる深刻な問題である。よって、いじめに対する正しい認識を徹底すると答弁されたが、その後の取り組みについて問う。

答 岩国市立小中学校でのいじめ認知件数は今年4月から8月までに48件発生し、昨年度を上回るペースとなっている。これは、いじめに対する保護者及び教職員の危機意識の向上と捉えており、各学校に対し研修会を実施し組織的対応を図るよう指導している。(教育委員会)



岩国錦帯橋空港入口の“未来へ”像

総 合 支 所

玖珂・周東総合支所の統合について
統合の計画については、継続して進める

藤 重 建 治 (憲政会)

問 玖珂・周東総合支所の統合方針では、平成28年度の統合を目指しているが、今現在、位置の決定さえ見られない状況にある。そこで地域住民から広く意見を求めるアンケート調査の実施等、総合的な地域づくり計画を行い、総合支所の位置決定をするべきと考えるがどうか。

また、玖北地域の統合と併せ、統合には様々な課題があり、統合を所管する専任部署を設置する必要があると考えるがどうか。

答 統合計画は断念するものではなく、現体制において、建設地の調査・検討は引き続き行い、慎重に決定していきたい。(総務課)



ターミナルビルと旅客機

医 療 セ ン タ ー

市有牛導入について
地域外からの導入に前向きに検討する

片 岡 勝 則 (新和会)

問 長引くデフレ不況の中、仔牛価格が低迷し繁殖農家の経営を圧迫しているが、こうした中優れた仔牛を産出し、市場での安定した高い評価を得る事が肝要と思われるが、市の考えを問う。

答 肉用牛の産地育成と地域のブランド牛の確立には、優秀な仔牛の生産と高い肥育技術により良質な肉牛を育てあげる事が基本である。現在の市有牛のほとんどが世代交代しており、良い仔牛を残す能力のある牛を再構築する必要性から、地域外からの素牛の導入について前向きに検討し、高級和牛の産地化による畜産振興を図っていきたい。(農林振興課)

開院スケジュールとバス路線は
3月26日全面開院、バスは7路線で

田 村 順 玄 (リベラル岩国)

問 愛宕山まちづくりエリアで建設中の岩国医療センターは完成が近づいているが、開院スケジュールは決まったのか。また、多くの市民が病院を利用すると思うが、バスアクセスはどのような計画か。

答 岩国医療センターの建物本体は平成24年末に完成、年明けから医療機器や什器・備品等を搬入する。救急外来は3月18日から受け入れを停止し、25日から新病院での診療を再開する。入院患者は3月24日に転院、26日からは外来も全面的に開院の診療となる。岩国医療センターへのバスアクセスは、現在、中国運輸局へ路線認可と運賃申請を行っているが、經由路線7本を3月25日から運行できるようダイヤ改正を急いでいる。(地域医療課・交通局)

基地

オスプレイの分遣隊岩国配備について
2週間程度駐機することもある

山田 泰之 (日本共産党市議員)

問 環境報告書では、岩国基地とキャンプ富士に分遣隊を毎月2〜3日派遣し、機数は2〜6機で任務の都合上「長期にわたる場合もある」としている。分遣隊とは、軍隊において特別の作戦任務に基づいて、一時的に本来の指揮系統から独立して行動する部隊でオスプレイ配備の本籍は沖縄で岩国は現住所となるが、本当に2〜3日なのか。

答 「訓練頻度及び機数は日本防衛、人道支援及び災害支援への対処訓練のため、より長期の展開(2週間程度)となることもある」と記述されており、政府関係者からは「岩国への配備はない」と示されている。(基地政策課)



一年間に賑わう岩国錦帯橋空港ロビー

交通

高齢化高台団地対策は
プロジェクトチームで検討

姫野 敦子 (清風クラブ)

問 高齢化が進み、市内各高台団地からの移動も大変と聞いている。交通手段の少ない周辺部団地に、曜日を決めたバスの運行など日常生活の維持支援対策ができないか。

答 バス路線が無く、高齢者等福祉タクシー料金助成制度も対象とならない旧市内の高台団地等は、市内タクシー事業者の営業エリア内で、団地内の道路が狭くバスが入れないなどの理由で市としては対応を行っていない。「通院」や「買い物」のための移動手段にバスの運行等の要望もあるが、他市町村の事例等を参考に、全市的な課題等を整理し、その方向性を「岩国市交通システム調査プロジェクトチーム」で検討したい。(政策企画課)



空港アクセスバス

環境

希少金属の回収・リサイクルを
実施する時期を検討する

河本 千代子 (公明党議員団)

問 平成25年度より、使用済み小型家電に含まれる貴金属・希少金属等の回収を進める小型家電リサイクル法が施行される。

新制度では、自治体と業者が柔軟に連携し、地域の実態に合わせた形で、リサイクルを推進することが望まれている。市の見解を伺う。

答 これまで、小型電子機器等は、希少金属等が含まれるが、相当部分が回収されず廃棄されていた。法施行後の対応は、多くの自治体に参加し、認定業者が再資源化できる体制づくりが必要となる。これらの動向に注視し、実施する時期を検討する。(環境事業課)

まちづくり

1J1U(移住)応援団の要望について
平成26年度には実施したい

藤本 泰也 (創志会)

問 岩国市では現在、中山間地域を中心にU・J・ターン促進事業に取り組んでいる。地域ごとに1J1U応援団の組織もできている。そして、それらの団体の協力のもと、空家の登録制度も行われている。そうした中、1J1U応援団の方から要望があり、3月議会で一般質問した登録空家の修繕助成について、その後どのように検討しているのか。

答 市内でワーキンググループを作り協議を重ね、先進地にも出向き実施に向けた検討に入っている。平成25年5月までに要綱を作り、平成26年度には実施できるようにしたい。(市民協働推進課)



スクランブル化した三笠橋交差点

予 算

増収につながる新たな財源確保を
観光・企業誘致活動を強力に展開

越 澤 二 代 (公明党議員団)

問 本市を取りまく財政環境も厳しくなっている。増収につながる新たな財源確保に向け、空港を起爆剤とした本市の成長産業をどのように位置づけ、地域産業の活性化・新産業の創出を検討されているのか伺う。

答 岩国錦帯橋空港は、年間35万人の利用客が見込まれ、市にとって大きく飛躍するチャンスと認識している。新産業の創出や企業誘致に伴う新規雇用拡大の可能性も高まっており、優遇制度やインフラの整備状況などを企業誘致のセールスポイントとして、トップセールスを精力的に行うなど、数々の誘致活動を強力に展開し、財源確保に努める。
(商工振興課)

施 設

日米地位協定に対する市の基本姿勢は
日米地位協定の改定を求めていく

片 山 原 司 (新和会)

問 地位協定の国際的比較をみると、日米地位協定では日本国が裁判権や逮捕権を要求している。一方、カンボジアPKO、イラク復興支援派遣、ジブチ海賊対処派遣など受入国から派遣国の立場となり、在外自衛隊の地位協定を相手国と結んで隊員の安全確保や任務の円滑運用することで、地位協定に対する矛盾が出ている。そのような状況の中で岩国市は地位協定をどのように考えるのか。

答 50年間見直しがされていない。運用の改善では基地をめぐるさまざまな問題に対応出来ないため、地位協定の改定が必要であると考える。
(基地政策課)

基 地

錦帯橋・市内公園のトイレについて
使用頻度の高いものから改造を検討

坪 田 恵 子 (日本共産党市議員団)

問 朝夕に散歩する地元の方や観光客で賑わう錦帯橋だが、空港の開港で都会からの客も増える。しかし現状は、決して障害者や高齢者に優しい観光地となっていない。観光客からは、洋式トイレを増やしてほしいとの声が出ている。

また、市内公園には、悪臭があり汚れているトイレが目立つが、清掃・管理はどうしているのか。障害者や子連れの方が利用しやすいトイレの整備方針は考えているのか。
答 錦帯橋を訪れた方が気持ちよく使用できるよう使用頻度の高いものから改造等の整備をしていきたい。清掃方法の改善等により、清潔な公園トイレの維持に努める。
(総務課・観光振興課・都市計画課)

議員の寄附行為の禁止って？

議員が選挙区内の人にあいさつ状や物品を贈ることは、特定の場合を除いて禁止されています。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。禁止されている寄附(例)は次のようなものがあります。



年賀状など時候のあいさつ状
(答礼のための自筆は除く)



お中元やお歳暮



落成式、開店祝い
の花輪



お祭りへの寄附や
差し入れ



秘書等が代理で出席
する場合の結婚祝い



入学祝、卒業祝

ただし、議員本人が自ら出席する結婚披露宴における祝儀、議員本人が自ら出席する葬儀や通夜における香典は罰則の対象から除外され、会費制の会合や行事の際の会費については、寄附にあたらぬとされています。地域の行事等で議員に対し会費が伴う行事等の案内をされる場合は、案内文に会費を明記してご通知ください。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

地域振興

建設工事等の市内優先発注は
受注機会の確保に努力

味村 憲 征 (ふみむら けんせい)

問 岩国市ふるさと産業振興条例第6条9項の実施にあたり、具体的な市内優先の入札制度が施行されているか。さらに事業者の地域社会への貢献や市施策の協力の状況などの価格以外の要素及び雇用人数、重機などの保有状況を加味した発注に努力しているか。

答 市内優先発注の徹底と可能な限り分離分割発注を行い、低入札は価格調査制度により調査基準価格の引き上げをしている。低価格での受注防止を行い、市産資材を活用する。さらに、特別簡易型総合評価方式に価格以外の要素を加味した評価項目として企業の地域貢献度の追加等を検討する。
(契約監理課)

介護保険

介護保険事業計画について
地域包括ケアを推進

桑田 勝 弘 (くま たかつひろ)

問 本市の高齢化率は約30%に達している。高齢者人口に対する要支援・要介護認定者数は現在、約2割であるが、今後、高齢化の進展とともに、認定者数の増加が予想され、高齢者を支える地域・社会の構築や仕組みづくりが急がれる。地域包括ケアの実現に向けて、介護職や看護職の確保、育成が必要と考えるが認識を問う。

答 介護職は、より専門性が求められ、また、看護職については、医療と介護の現場において職員の確保が困難である。今後、医療と介護の連携において、看護職や介護職の確保が必要と認識している。
(介護保険課)

介護保険

介護保険料の今後の見通しと対応策は
次期改定時の引き上げも避けられない

渡辺 靖 志 (わたべ せいし)

問 今期の改定(4月施行)は基準額で月額4,000円から5,000円となり上昇率が25%の増加となる。特に年金生活者にとっては厳しい内容だが、平成27年度の第6期改定ではどうなるのか。本市としての対応策は何か。

答 少子高齢化が進む中、本市のみならず県内各市でも大幅な引き上げが行われた。本市としても、要介護認定及び介護給付費の適正化、予防重視型システムの充実などを通じて介護にかかる費用や保険料の上昇を最小限にすべく努力する。また引き続き、国に対しても、対応策を求めていく。
(介護保険課)



3月に開院される岩国医療センター

中山間地域振興施策
調査特別委員会報告

委員長 藤本 泰也

中山間地域振興施策調査特別委員会では、生活環境と農林水産業振興の、2つの課題について協議を行っています。

生活環境については、生活交通バスの整備、情報空白地域の解消、生活必需品の地元調達、その他生活環境の整備について、昨年9月調査結果を取りまとめ議長に報告し、議長から市長に対して申し入れが行われました。

農林水産業振興については現在、農業、林業、水産業について課題を挙げ、対応策等の協議を行っています。農林水産業振興においても協議を重ね、取りまとめを行い、3月定例会には中間報告を行う予定としています。

今後も、県の中山間対策室や県民局と連携を取り、現状把握に地域に向き、先進地事例も参考にしながら、最終的には中山間地域振興にかかる条例制定を行いたいと考えています。

議案第135号 平成24年度岩国市一般会計補正予算(第3号)

問 おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会の事業目的と、事業による費用対効果は、どの程度と見込んでいるのか。

答 同協議会の目的は、空港を利用した観光ルートによる首都圏からの集客、地域資源を生かした観光メニューによる滞在型観光の増加、話題性の高いキャンペーンを行うことの三つである。費用対効果については、具体的な数値は持ち合わせていないが、錦帯橋の渡橋者数の1割増という目標があり、観光客の誘致を推進していきたい。

さらに、岩国錦帯橋空港の利用促進のため、観光面では、官民一体の協議会で対策を検討している。

結果：全会一致で可決

議案第155号 指定管理者の指定について(サンライフ岩国)

問 対象となる会社は赤字決算となっている。この会社を指定管理者として指定する理由は何か。

答 選定については、地域貢献等さまざまな項目で総合評価している。この会社はう飼いの存続に努力しており、市は支援する立場にあるため、今後、経営努力するよう指導していきたい。

問 対象会社の事務所が指定管理施設の中にあるようだ。指定管理施設に企業の支店や事務所を設置してよいのか。

答 指定管理をするために社員が常駐しているものである。指定管理業務とその他の業務の区別をきちんとつけるよう指導していきたい。

結果：全会一致で可決

その他、経済常任委員会で付託された事件は、すべて全会一致で可決すべきものと決しました。

経済

委員長 片山 原司

議案第157号 指定管理者の指定について(岩国運動公園等5施設)

問 スポーツ施設運営の有識者として委嘱を受けた委員1名が欠席していること及び評価項目が21もあるのに、その全てに満点をつけている委員がいることから、選定方法に問題があったのでは。

答 「岩国市公の施設指定管理者選定委員会設置要綱」が定める定定数に達していること及び委員会において、最高合計得点者を候補者として選定することに異議がないか諮り、全会一致で決定しているため、選定方法に問題はない。

問 地元以外の団体が候補者として選定されたため、地元の岩国市体育協会に格段の配慮が必要になってくるのではないか。

答 生涯スポーツの充実を実現するために、地域スポーツの普及促進の要である岩国市体育協会と今まで以上に協力関係を深めていく。

問 指定管理者に、運営において岩国市体育協会との連携・協同を図るよう、働きかけを行うべきではないか。

答 指定管理者が地元のスポーツ振興団体である岩国市体育協会と共同して管理運営に当たることができないか、両者の橋渡しに努めていく。

反対討論：指定管理の対象が市のスポーツ振興を図る上で重要な施設であることからすれば、期日変更の上、全委員出席のもと選定すべきであったので反対。

賛成討論：市は、今後、指定管理者の指定に際し、地元の団体が管理運営に参加できる制度の導入に真剣に取り組むべきであるが、手続上問題がないので賛成。

結果：賛成多数で可決

その他、教育民生常任委員会で付託された事件は、すべて全会一致で可決すべきものと決しました。

教育民生

委員長 豊中 俊行

議案第135号 平成24年度岩国市一般会計補正予算(第3号)について

問 愛宕山の米軍家族住宅エリアへの二つのゲートの使用見込みと設置場所はどのようにして決定されたのか。

答 南北にあるゲートについては、車両の分散化等のため、いずれも日常的に使用する予定とのことである。また、ゲートの位置については、国と米側が協議したうえで適切な場所を決定し、市に示されたものである。

問 南側のゲートは、医療・防災交流拠点に接続されており、交通事故等さまざまな問題が起こってくるのではないかと。また、灘海園や高校の通学路があるため、ゲートの移動を求めるべきではないかと。

答 米軍関係車両の通行については、米側でも交通安全講習を実施されており、引き続き懸念される事態にならないよう対応していく。また、ゲートの位置については、現時点では移動等を求めていく考えはない。

結果：全会一致で可決

議案第151号 岩国市都市公園条例の一部を改正する条例について

問 市の管理する公園のトイレについては、さまざまな人が利用できるよう、ユニバーサルデザイン化をより一層進めるべきではないかと。

答 今後トイレを新設する際には、すべての人が快適に利用できるトイレとなるよう、整備を進めていきたい。

結果：全会一致で可決

その他、建設常任委員会に付託された事件は、すべて全会一致で可決すべきものと決しました。



委員長 石原 真

議案第156号 平成24年度岩国市一般会計補正予算(第3号)

問 個人市民税及び法人市民税について、今回増額の補正となった理由は何か。

答 個人市民税については、当初予算でマイナス3%を見込んでいたが、現時点で、マイナス0.5%にとどまったこと、法人市民税においては、当初、マイナス6.5%を見込んでいたが、本年度4月以降の決算実績によると、プラス11%と見込まれるため、増額補正をした。

問 固定資産税について、今年度評価替えが行われ減額となったと理解しているが、旧町村部では、課税標準額の調整により税額が増加しているとの声を聞か、この状況はいつまで続くか。

答 土地価格の下落に伴い、全般には税額も下がる傾向にあるが、旧町村部においてはこれまで、若干評価額が低かったため、負担水準に達していない地域もあることから、あと数年は5%ずつ税額が上がっていくことも予想される。

結果：全員一致で可決

議案第156号 指定管理者の指定について(周東文化会館等4施設)

問 新たな会社を指定管理者として指定することにより、指定をはずれることとなる企業等で、現在勤務している職員の身分はどうなるのか。雇用をそのまま継続することはないのか。

答 指定管理業務の仕様書には、施設管理を円滑に行うため、現在施設に勤務する職員について、雇用継続の希望がある場合は、最大限の配慮を行うこととしている。

結果：全員一致で可決

その他、総務常任委員会に付託された事件は、すべて全員一致で可決すべきものと決しました。



委員長 藤重 建治

議会構成の紹介



- 議 長
武 田 正 之
- 副議長
縄 田 忠 雄
- 監査委員
植 野 正 則

| | 常 任 委 員 会 | | | | 議 会 運 営 会 委 員 会 |
|---------------|-----------|---------|---------|---------|--------------------|
| | 総 務 | 教 育 民 生 | 経 済 | 建 設 | |
| 委 員 長 | 藤 重 建 治 | 豊 中 俊 行 | 片 山 原 司 | 石 原 真 | 林 雅 之 |
| 副 委 員 長 | 河 本 千 代 子 | 渡 辺 靖 志 | 長 俊 明 | 片 岡 勝 則 | 河 合 伸 治 |
| 委 員 (五十音順) | 植 野 正 則 | 石 本 崇 | 味 村 憲 征 | 越 澤 二 代 | 味 村 憲 征 |
| | 武 田 正 之 | 大 西 明 子 | 河 合 伸 治 | 田 村 順 玄 | 石 原 真 |
| | 細 見 正 行 | 桑 田 勝 弘 | 貴 船 齊 | 坪 田 恵 子 | 石 本 崇 |
| | 村 中 洋 | 桑 原 敏 幸 | 重 岡 邦 昭 | 縄 田 忠 雄 | 植 野 正 則 |
| | 山 田 泰 之 | 姫 野 敦 子 | 林 雅 之 | 藤 本 泰 也 | 貴 船 齊 |
| | 渡 吉 弘 | 渡 辺 和 彦 | 前 野 弘 明 | 松 本 久 次 | 細 見 正 行 |
| | | | | | 山 田 泰 之 |
| | | | | 渡 辺 靖 志 | |

※平成24年11月16日の市議会臨時会で選任されました。

編集後記

悲願であった岩国錦帯橋空港が、昨年の12月13日に開港しました。

昭和27年4月から昭和39年12月まで民間空港として使用されていたので、48年ぶりの再開となります。

民間空港再開を、岩国市の明るい未来を切り開く起爆剤として、最大限に活用し、地域全体の振興、活性化につなげていくことが大切です。

陸・海・空の交通網が整ったことで、経済振興と観光振興への新たなスタートと位置づけ、さらなる「活力あふれるまちづくり」実現のために、市議会が果たす役割は大きいものといえます。

いわくに市議会だより編集委員会



- 委員長
河本千代子
- 副委員長
長 俊明
- 委員
石本 崇
豊中 俊行
前野 弘明
松本 久次
山田 泰之
渡辺 靖志